

あんあんニュース

制作:食品安全推進委員会 監修:コープ北陸事業連合

コープ北陸は、富山・石川・福井の3生協で取扱う商品を企画する事業連合です。商品の仕入れや仕分けなどの事業機能を協働し3生協の力を結集することで、より安全・安心で、より安い商品の供給をめざしています。取扱い商品の安全確認業務も担っています。

食品安全推進委員会とは

組合員、学識者、コープ北陸役員からなる委員会です。コープ北陸の安全確認業務がしっかり行われているか、対応が適切かなどの監査を行っています。



一緒に学んで考えてみよう!

私たちの食生活と**食品添加物**



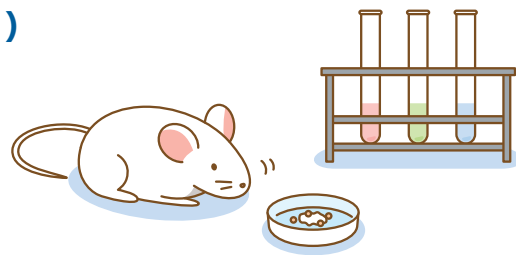
2限目 コープ北陸でのとりくみ

※1限目はとらいあんぐる2月号に掲載

国の機関によって基本的な安全性が確保されていることを踏まえつつこれらをより良くしようという姿勢で日本生協連とともに国全体の食品安全のレベルを向上させるようとりくみます。

▲食品添加物への考え方(一部)

- 食品添加物がからだに及ぼす悪影響について科学的な評価に基づき安全性を判断
- 国や日本生協連の基準を踏まえた上でコープ北陸独自の「**食品添加物基準**」を設定



▲食品添加物基準の適用範囲(一部)

- 取扱商品すべてにおいて不使用添加物(※1)は意図して使用しない
- 使用制限添加物(※2)はCO・OP商品およびHCOOP商品を対象とする

コープ北陸の食品添加物基準について詳しくはこちら

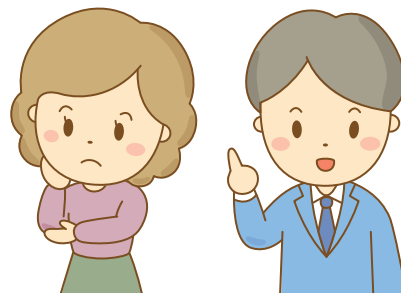


(※1)「発がん性あり」「遺伝子を直接傷つける」「発がんリスクがないといえる量が決められない」物質。

(※2)日本生協連が自主基準として「使用できる食品の対象範囲の制限」または「使用量・残存量の制限」などを行う添加物。



使用理由や生協のとりくみは理解できたけどやっぱり健康に影響がないか心配…



食品添加物の安全性は「**量**」がとても重要になります詳しくは3限目で!

コープ北陸 安全政策部からお知らせ

安全・安心認証商品(あん・にん)マークがなくなります

ぼくとは3月4回のカタログでお別れ!



理由1 コープ北陸の安全確認のとりくみを4つから5つへと内容を強化

理由2 事業者に対する衛生管理業務の義務化、食品衛生法の改正や厳罰化

上記の理由から他商品と安全性に対する差がなくなってきたためマーク表示を廃止します。マークがなくなっても商品が安全であることに変わりはありません。安心してご購入ください。

詳しくはこちら



3限目 食品添加物と量

例えば塩分の摂り過ぎは高血圧などにつながる

どんな食品でも摂り過ぎはからだに良くありません。

食品添加物も同じで、からだに及ぼす影響は「**摂取量**」によって異なります。



▲安全な量とは

食品添加物はそれぞれに「一生毎日摂取し続けても健康への悪影響がないとされる1日あたりの摂取量(ADI)」が科学的なデータに基づいて設定されています。



計算してみよう

体重50kgの人が**使用基準上限までソルビン酸(保存料)**が含まれたハムを1日にどれだけ食べるとADIに達するのか?

体重50kgの人のADI

●ソルビン酸のADI
体重1kgあたり25mg/日
 $25(\text{mg}) \times 50(\text{kg}) = 1250\text{mg}(1.25\text{g})$

ハムの量に置き換える

●ハムへの使用基準上限
1gあたり0.002g
 $1.25(\text{g}) \div 0.002(\text{g}) = 625\text{g/日}$



\\ 625gはスライスハム約60枚分 //

適切な量を摂取している限りADIを超えることはありません

